

アメリカ アラスカ州 パーマー高校 安宅 さん

留学期間：H30(2018).8~H31(2019).6 (1年間留学)

私はアメリカのアラスカ州にある、Palmer 高校に通っています。全校生徒は約 800 人で、そのうちの 5 人は世界各国から来た留学生です。アラスカでの留学生活は日本の高校生活とすべてが異なります。毎日新たな発見や驚きがあり、本当に面白いです。留学生活が始まって約 4 か月が過ぎようとしています。もう少しで冬休みです。



- 23℃の中で

最初の 1 か月目はとても大変でした。自分の言いたいことが全く伝わらず、とても自分に幻滅していました。しかし、1 か月が過

ぎたとき、耳が少しずつ慣れて

きていると感じました。それが転機となり、留学生活が楽しくなりました。そして 2 か月半が過ぎたころから、アメリカ人の友達と休日に遊びに行くことが増えてきました。英語の練習にもなり、現地でしか経験できないようなことが体験出来るのでとても良い経験です。3 か月半が過ぎた今、自分の意見が前よりも通りやすくなりましたが、自分の英語力の伸びが感じられない時もあります。しかし勉強を続ければ、確実に伸びると信じています。このまま毎日の努力を続けていこうと思います。



友達の家遊びに行った時

日々の生活から多くのことを学んでいます。その中でも一番大切なことは積極的に意見を言うことです。これは日本と真逆な文化ですので、最初は戸惑いましたが、今では皆に意見をはっきり言うことができます。留学生活で一番楽しいのは、日本とアメリカの違いを見つけたときです。彼らは私と違う方向から物事を見ています。私は日本語のクラスをとって、アメリカ人に、日本語を教えています。ここでも多くの違いを発見できるので、毎日が刺激的です。今頑張っていることは、日々の生活を英語で暮らすことです。留学期間は短いです。そこでどれだけ実際の英語に触れるかが鍵だと思っています。学校から帰った後、一人になるとどうしても日本語に触れてしまいます。対策として、部屋でも何かしら英語を流したり、リビングで映画やアニメを英語で見てみたり、英語の本を読んだり、とにかくいつでも英語で満たすように心がけています。



アラスカの文化を学ぶ授業

そして、今までの留学生活の一番の収穫は、はっきりとした自分の夢が出来たことです。留学前から、自分の夢の条件と方向性は決まっていたのですが、それが詳細に何という職業にあたるかが分かりませんでした。でもそれが何なのかが留学してみてもはっきりと分かりました。行きたい大学とその学部の専攻までもが決まりました。留学していたからこそ見つけられたのだと思います。また、将来の夢のみでなく、留学で感じたこと・考えたこと・学んだことは、今後、私の残り全ての人生において良い影響を与え続けそうです。

次の学期に挑戦したいことは、プレゼンテーションやエッセイの仕方を学べるクラスをとることです。私は、人前で話すことが好きです。英語の上達のために、機会を増やしたいと考えています。

最後になりましたが、応援してくださっている皆様（ふるさと納税寄付者の皆様、県の皆様、両親及び親戚の方々、先生方、ホストファミリー、友人）、夢を与えてくださって本当にありがとうございます。本当に感謝しています。留学という皆様が与えてくださった 10 か月間は、人生の宝物になります。残りの半年を、毎日を大切に過ごして、留学先で与えられるあらゆる機会に挑戦していこうと思います。



ホストファミリーと